

新園長から皆様へご挨拶

上野原縄文の森 園長 前迫 亮一



上野原縄文の森は、国指定史跡「上野原遺跡」を保存・活用する歴史公園として、平成14年10月5日に開園し、おかげさまで昨年度20周年を迎えることができました。私は、今年度から園長として着任いたしました。

上野原縄文の森は、縄文遺跡がきっかけとなって建設された歴史公園ですが、20年経過し、当時の様子を再現した園内の木々もすっかり「縄文の森」として成長してきました。今では遺跡に関係なく、森の雰囲気を楽しむに來られる方も多くいらっしゃいます。園内では、鳥や昆虫、草花やキノコ類など、様々な「生命(いのち)」と出会い、観察することができます。

上野原縄文の森としましては、考古学・遺跡に興味のある方々だけではなく、自然の雰囲気を味わいたい、そんな方々にもぜひご来園いただきたいと思います。日常の喧騒から離れ、「歴史」と「自然」を感じるひと時をお過ごしください。



縄文の森の歩き方

縄文の森って、何するところ？縄文時代の遺跡とかを見たり、火おこしとかの縄文体験をするところだね？

…間違っていないんです。でも、それだけじゃないんです。

縄文の森には、広大な森、夏を涼しくする小川や古代池、アスレチックなど、太古の森を再現した自然公園としての側面もあるのです。それら自然の中で、カエルやメダカ、昆虫など生態系を学ぶこともできます。また園内には、いろいろな珍しい植物も自生しています。

東京ドーム8個分の広大な縄文の森で、1万年前の世界にタイムスリップしてみませんか？



車で2分！霧島市こども館も近いよ！こども館に行ったついでに、ぜひ寄ってね！

お知らせ (リニューアルに伴う休館)

展示館(展示室)のリニューアル工事を予定しています。それに伴い、下記期間中は、展示室の観覧ができません。お客様には大変ご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解・ご協力のほどよろしくお願い致します。

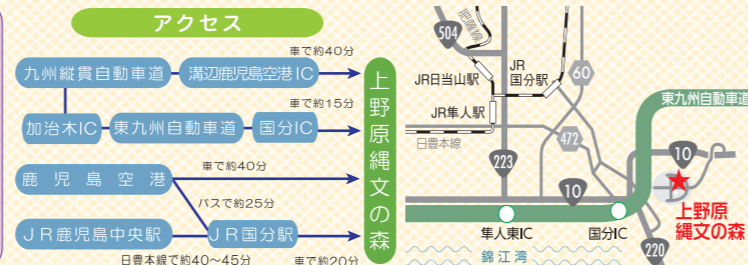
現在の展示は
令和6年1月8日(日)
で見納め！
多くの方のご来館をお待ちしています！

休館期間 令和6年1月9日(火)～7月5日(金) ※予定

工事の進捗状況等により、変更になる可能性があります。
ホームページ等で随時お知らせいたします。

※体験学習館及び、体験エリア(アスレチック・祭りの広場等)、見学エリア(遺跡保存館・地層観察館・復元集落等)はご利用できます。
※展示館内の他室等も、工事の状況により利用不可となる可能性があります。

【開園時間】 午前9時～午後5時 (展示館入館は午後4時30分まで)
【休園日】 毎週月曜日 (休日に当たるときは、その翌日)
12/30～1/1(年末年始)、2月中旬(臨時休園)(1/2～1/3、4/29～5/5、8/13～8/15は無休)
【展示館利用料金】 (団体は20人以上) ※展示館内の展示室・シアターのみの有料
◇個人 小・中学生 150円 高・大学生 210円 大人 320円
◇団体 小・中学生 120円 高・大学生 160円 大人 250円
(鹿児島県内の学校が教育課程等に基づき学習活動の一環として利用するとき等は減免措置有り)
(団体でご利用(展示館・体験学習館など)の場合は事前にご相談ください)
◇鹿児島県内にお住まいの70歳以上の方は、展示館利用料金が無料です。
◇鹿児島県内にお住まいの小・高・高校生は土・日・祝日に限り、展示館利用料金が無料です。
(いずれも年齢等が確認できる書類をご持参ください。)



公益財団法人 鹿児島県文化振興財団 上野原縄文の森
〒899-4318 霧島市国分上野原縄文の森1番1号 電話 (0995) 48-5701 FAX (0995) 48-5704
URL <https://www.jomon-no-mori.jp> E-mail: uenohara@jomon-no-mori.jp



上野原縄文の森だより

UENOHARA JOMON NO MORI

2023.10
Vol. 45

黄色の太文字を前から順につなげて完成した言葉を、上野原縄文の森に来て受付(展示館受付又は体験学習館)に伝えると、**プレゼント**があるよ！
(令和6年3月31日まで)

- **イチ押しイベントをご紹介します！**
- **上半期のトピックス！**
- **限定商品ミュージアムグッズをご紹介します！**
- **新園長から皆様へご挨拶**
- **考古学だけじゃない！縄文の森の歩き方**
- **お知らせ(リニューアルに伴う休館)**

令和5年度下半期のイチ押しイベントをご紹介します!

上野原縄文の森 第68回企画展
日本ジオパークエリア拡大認定記念

人のあゆみとジオストーリー ～南九州の火山と生きた人びと～

開催期間 令和5年10/21(土)
～ 令和6年1/8(日)祝

上野原縄文の森は霧島ジオパークとパートナーシップ協定を締結し、令和4年9月、日本ジオパークの拡大エリアとして再認定されました。南九州に生きた人びとは、地球規模で活動する火山や地震から大きく影響を受ける一方、シラス台地などの固有の地形を巧みに活かし、生きてきました。また、石や土などの大地の恩恵から材料や道具を作りだし、他の地域と交流をはかりながら文化の構築と融合を繰り返してきたと言えます。

今回の企画展は、火山や地形などの地質遺産と発掘された遺構・遺物という歴史遺産との関わりについて紹介し、火山や地震、災害等と共存してきた人々のあゆみについて学べる機会とします。

企画展講演会

日時 令和5年11月26日(日)
9:30～12:00
場所 霧島市国分シビックセンター 多目的ホール
講師 大木公彦氏(鹿児島大学名誉教授)
柴畑光博氏(九州大学大学院 比較社会文化研究院 特別研究者・博士)
定員 300名程度(要事前申込み)
資料代 100円



春日式土器
(御池噴火前の縄文土器)

大野城巡回展 南の縄文文化～縄文人の心を探る～

開催期間 令和6年1/20(土)～3/10(日)

展示場所 福岡県大野城市
大野城心のふるさと館 企画展示室

上野原縄文の森は、「国内最古最大級の定住集落」である上野原遺跡の保存と活用を目的として設立され、令和4年に開園20周年を迎えました。この20年の間に新たに多くの発掘調査が行われたとともに科学研究の進歩により、様々な事が明らかになりました。

今回の企画展では、南の縄文文化をテーマに、鹿児島県各地から出土した縄文時代の遺物を一堂に展示し、最新の成果をもとにした「南の縄文文化」について紹介します。

企画展講演会(「考古学講座第5回」同時開催)

今回の講演では、最新の研究成果を交えながら、鹿児島県を中心とした「南の縄文文化」について解説します。

日時 令和6年2月10日(土) 10:00～11:30
場所 大野城心のふるさと館(福岡県大野城市)
講師 鹿児島県考古学会 会長 堂込秀人氏
定員 80名程度(要事前申込み)
資料代 100円



夜光貝チャームを作ろう IN 大野城市

大野城心のふるさと館で開催する巡回展にあわせて、南の縄文人も使用していた「夜光貝」という美しい貝を使ったオリジナルチャームを作ろう!

日時 令和6年2月10日(土) 午後
(詳細はHPをご参照ください)
場所 大野城心のふるさと館(福岡県大野城市)
参加者 小学生以上21組程度(申込期間:随時)
参加料 1つ500円



※画像はイメージです。

第20回 縄文の森秋まつり

入場無料 (体験活動は一部有料)

11月3日(金・祝)～4日(土)

10:00～15:00 上野原縄文の森 体験広場

秋だ!まつりだ!縄文村の秋まつり!!
ワクワクがいっぱい♪みんなおいでよ!



ステージパフォーマンス

11/3(金) 10:15～ 舞鶴中学校 吹奏楽部
11:00～12:30～ 霧島九面太鼓保存会
11:45～ 国分南中学校 ダンス部
13:30～ 火おこし大会(雨天時:クイズ縄文マニア)

11/4(土) 10:15～ 国分中央高校 ダンス部
11:00～12:30～ じゃんけんガールズ
11:45～ 隼人中学校吹奏楽部
13:30～ クイズ縄文マニア



屋台村

どんぐりうどん、
ラーメンなど



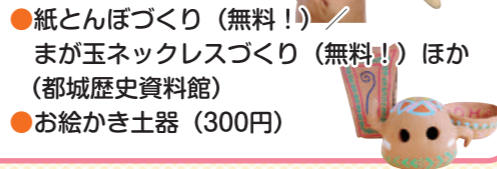
体験活動

弓矢作り, アクセサリー作りなどほかにもたくさんあるよ!

11/3(金) ●石器売りのおじさん(無料!)ほか(指宿市考古博物館時遊館COCOはしむれ)
●森の恵リース(250円)



11/4(土) ●紙とんぼづくり(無料!)ほか
●まが玉ネックレスづくり(無料!)ほか(都城歴史資料館)
●お絵かき土器(300円)



令和5年度上半期のトピックス!

第20回 縄文の森春まつり

ゴールデンウィークに開催された毎年恒例の春まつり♪ジャグラーひがちゅう、じゃんけんマン、ぐりぶー、国分中央高校ダンス部をはじめ、多くの皆さんに盛り上げていただきました。春まつり限定体験の森の恵リース作りなどの体験活動やどんぐりうどんなどの屋台村、お楽しみ抽選やクイズ縄文マニアなど楽しい要素が盛りだくさんの3日間でした♪県内外から多くの皆様にお越しいただき、ありがとうございました!秋には秋まつりもあります。遊びに来てね!



2023かごしま総文の巡検研修が行われました

「第47回全国高等学校総合文化祭 2023かごしま総文」の自然科学部門のコースの一つとして、80人ほどの高校生が上野原縄文の森を訪れました。そして、国分高校生がボランティアガイドをして、復元集落跡、二つ並んで出土した「双子壺」などの見学や、火おこし体験をしました。

東北地方から訪れた高校生からは、「青森の三内丸山遺跡より古いとは聞いていたが、土器の形も知っている物とは違い、面白い」といった感想をいただきました。



上野原縄文の森「限定」ミュージアムグッズをご紹介します!

ここでしか手に入らない「限定」グッズをご紹介します!

滑石アクセサリキット(勾玉) 250円
説明書付きだから自分で作れます!
好きなカラーを選んでね!



オリジナルキャンディ「うえのはらムラのおうち」 250円
コーラ味を新発売!おみやげにいかがですか?



野帳 400円
縄文の森だけのオリジナル野帳!
ヤチヨラーのあなた、持ってますか?

専門書コーナーも
あるよ!

来園者250万人突破記念セレモニー

上野原縄文の森は、国史跡に指定されている「上野原遺跡」を保存・活用する施設として、平成14年10月に開園しました。そして、今年7月7日には、来園者が250万人を突破しました♪その幸運な250万人目の来園者となったのは、たまたま遠足で園を訪れていたさつま町の小学生! 250万人目とその前後の方に、土器のレプリカと記念証を贈呈しました。「楽しかったので、また遊びに来たい」との感想をいただきました♪来園くださいました全ての皆様に感謝します♪とともに、今後のご利用をぜひお待ちしております。



第66回企画展 きゅら島あまみの歴史と文化

～奄美・徳之島世界自然遺産登録・奄美群島日本復帰70周年記念～

令和3年7月の奄美・徳之島世界自然遺産登録、令和5年の奄美群島日本復帰70周年を記念し実施した企画展です。奄美諸島は、九州と密接に交流しながら独特の文化が築かれました。中には、独特の形状をした、未だ使用用途が明らかにされていない土器もあり、ロマンに溢れた展示に、来館された皆様は釘付けとなっていました。また、スマートフォンを利用したVRなどのコーナーを設置し、考古学にあまり詳しくない方でも楽しめる仕掛けを用意しました。奄美諸島の縄文文化については、常設展示にもございます。節目のこの機会にぜひ多くの皆様にご覧いただきたいと思っております。

